



ふじの花荘 〒999-7602 山形県鶴岡市藤の花一丁目18番地1
TEL.0235-64-5880 FAX.0235-64-5884

特別養護老人ホーム／指定短期入所生活介護サービスセンター
指定通所デイサービスセンター／指定居宅・在宅介護支援センター
指定訪問ヘルプサービス／グループホーム

発行◎社会福祉法人 ふじの里

発行責任者◎深澤 一雄
発行日◎令和2年10月31日 印刷所◎JA印刷山形

障がい福祉サービス 根っ子杉 〒999-7602 山形県鶴岡市藤の花一丁目20番地1
TEL.0235-64-4376 FAX.0235-64-4418

地域包括支援センター ふじしま 〒999-7602 山形県鶴岡市藤の花一丁目18番地1
TEL.0235-78-2370 FAX.0235-64-5884

藤島こりす保育園 〒999-7602 山形県鶴岡市藤の花一丁目21番地1
TEL.0235-78-2588 FAX.0235-64-4488

藤島くりくり保育園 〒999-7601 山形県鶴岡市藤島字笹花82-1
TEL.0235-64-2167 FAX.0235-64-6102

令和元年度 社会福祉法人 ふじの里

決算報告書

資金収支計算書 (自)平成31年4月1日
(至)令和2年3月31日

(単位:円)

勘定科目		決算
事業活動による収支	収入	
	介護保険事業収入	713,998,674
	保育事業収入	276,486,571
	就労支援事業収入	2,591,575
	障害福祉サービス等事業収入	38,500,710
	その他の事業収入	1,241,214
	経常経費寄附金収入	154,000
	受取利息配当金収入	6,630
	その他の収入	4,908,509
	事業活動収入計(1)	1,037,887,883
支出	人件費支出	763,112,594
	事業費支出	155,216,076
	事務費支出	79,322,535
	就労支援事業支出	2,591,575
	利用者負担軽減額	1,479,416
	その他の支出	0
	事業活動支出計(2)	1,001,722,196
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		36,165,687
施設整備等による収支	収入	0
	支出	
	固定資産取得支出	11,301,680
	施設整備等支出計(5)	11,301,680
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		△11,301,680
その他の活動による収支	収入	
	積立資産取崩収入	2,660,062
	その他の活動収入計(7)	2,660,062
	支出	
	積立資産支出	10,785,483
	その他の活動支出計(8)	10,785,483
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△8,125,421
予備費支出(10)		—
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		16,738,586
前期末支払資金残高(12)		265,823,682
当期末支払資金残高(11)+(12)		282,562,268

事業活動計算書 (自)平成31年4月1日
(至)令和2年3月31日

(単位:円)

勘定科目		当年度決算	
サービス活動増減の部	収益	介護保険事業収益	713,998,674
		保育事業収益	276,486,571
		就労支援事業収益	2,591,575
		障害福祉サービス等事業収益	38,500,710
		その他の事業収益	1,241,214
		経常経費寄附金収益	154,000
		サービス活動収益計(1)	1,032,972,744
	費用	人件費	771,238,015
		事業費	155,216,076
		事務費	79,322,535
就労支援事業費用		2,591,575	
利用者負担軽減額		1,479,416	
減価償却費		80,063,247	
国庫補助金等特別積立金取崩額		△38,877,263	
サービス活動費用計(2)		1,051,033,601	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)		△18,060,857	
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	6,630
		その他のサービス活動外収益	4,908,509
		サービス活動外収益計(4)	4,915,139
	費用	サービス活動外費用計(5)	0
		サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	4,915,139
経営増減差額(7)=(3)+(6)		△13,145,718	
特別増減の部	収益	特別収益計(8)	0
		固定資産売却損・処分損	0
		過年度損益修正損	0
		特別費用計(9)	0
		特別増減差額(10)=(8)-(9)	0
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		△13,145,718	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)		556,179,652
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)		543,033,934
	基本金取崩額(14)		0
	その他の積立金取崩額(15)		0
	その他の積立金積立額(16)		0
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)		543,033,934

貸借対照表 令和2年3月31日現在

(単位:円)

資産の部	
流動資産	305,359,529
固定資産	903,810,370
基本財産	760,185,134
その他の固定資産	143,625,236
資産の部合計	1,209,169,899
負債の部	
流動負債	22,797,261
固定負債	100,953,816
負債の部合計	123,751,077
純資産の部	
基本金	18,831,054
国庫補助金等特別積立金	501,341,224
その他の積立金	22,212,610
次期繰越活動増減差額	543,033,934
純資産の部合計	1,085,418,822
負債及び純資産の部合計	1,209,169,899

デイサービス



7月より、楽しみながら健康維持・QOL向上に取り組める音楽療養コンテンツ「健康王国」を導入しました。カラオケだけでなく、体力や健康状態にあわせたコンテンツで介護予防に励んでいます。音響も良くカラオケ好きな利用者様からも大好評です。新型コロナウイルス感染症対策で、利用日の朝の検温、マスク着用、手洗いうがいの徹底などご利用者はもちろん、ご家族の皆様からもご協力をいただいております。



ショートステイ

ショートステイでは、新型コロナウイルス感染のリスク軽減のため、様々な対策を講じつつ、利用者楽しんで頂けるような毎日のレクリエーション、季節に合わせた行事等行っています。今後も気を緩めることなく取り組んでまいります。



手を洗おう



消毒しよう



換気しよう

ここかな？



釣れた！

特別養護老人ホーム

ステイ・ホーム

～施設内でも楽しく過ごそう～

今年は「施設内でも楽しく過ごそう!」と、お正月に手作り神社を作成し、初詣を楽しみました。2月以降、新型コロナウイルス感染症の流行により、外出行事は自粛していますが、手作り神社を活用した縁日行事や、夕涼み花火大会など、入居者と職員一緒に、ステイホーム企画楽しんでます。



夕涼み会



「今年もいい年になりそうだ。」



「鬼は外、福は内。」



「お雛さまと一緒に。」



縁日で「あん玉うめの。」



根っ子杉

コロナに負けない!!



新型コロナウイルス感染症の拡大防止をするための取り組みを紹介します。

3月から自粛傾向にあり、4月には2週間の休業も行い感染予防に努めました。食事をする際は間隔を空け、手作りの飛沫感染遮断シートも作成しました。又、手芸班では自分たちが使用するマスクはもちろんの事、保育園や地域にも販売を行いました。農園では、昨年秋に植え収穫したにんにくの芽や玉葱を調理し、おやつ時間に食べ、コロナに負けない体作りに取り組みました。



「飛沫感染遮断シートの出来上がりは、バッチリ!」



「色とりどりのマスクが出来ました。」



藤島こりす保育園

今年はコロナウイルスの影響で、例年のようなプール遊びは出来ませんでした。が、「夏ならではの遊びを満喫したい!」と様々な水遊びを経験しました。色水遊び、ジュース屋さん、泥んこ遊び、水鉄砲、泡遊び、洗濯ごっこ、水風船、5歳児さんは、大きな水路をみんなで協力して作り楽しみました。笑い声と歓声が響き渡りとても賑やかな夏になりました!



藤島くりくり保育園

平成16年4月より、生後6か月～2歳までの定員90名の保育園として開設しました。ゆったりとした環境の中で、一人一人の思いや育ちを大切に、園庭で遊んだり、近くの広場や公園に出かけて自然に触れる保育を多く取り入れ、感性豊かにのびのびと遊び、地域の方々とのふれあいも大切にしています。



お散歩大好き(1歳児)



ぼっとな遊び(0歳児)



電車ごっこ「いってきま～す」(2歳児)



泡遊び「きもちいい～ね」(2歳児)



居宅介護支援センター



7名の介護支援専門員(ケアマネジャー)が介護保険ご利用の相談、申請代行手続き、ケアプラン(介護サービス計画書)の作成を行います。介護サービス計画の作成においては、ケアマネジャーがご自宅に伺い、ご利用者様・ご家族様の望む生活に向けてご相談し、作成致します。電話でもご相談を受け付けております。

どうぞお気軽に当事業所へご相談下さい。お待ちしております。



訪問ヘルプサービス



私たちヘルパーは、ご利用者様の
“できる限り住み慣れた
自宅で生活したい”
という思いに寄り添います。



多様化する様々なご希望に沿った適切なサービスを提供するために…
定期的な勉強会を行い、必要な知識や介護、介助技術の向上に努めています。
調理実習を通して限られた時間の中で、
手際よく質の高い食事づくりができるように努めています。

いっぱいあって
何から食べて?



グループホーム

グループホームでは、家庭的な生活環境のもと、出来る事、分かる事に着眼し、ご本人の自己決定を尊重しながら、ひとりひとりに合った支援をしています。又、暮らしの中に楽しみを持って頂ける様に季節に合った食材を使って、バイキング形式で行事食を行ったり、軽体操レクリエーションを職員も一緒に楽しみながら行っています。

